



K'mio talks

### 母の死に寄せて

母の葬儀に際し、皆さまより弔電を頂きました事、心よりお礼を申し上げます。本当に急な事で父も何の準備もできていないという状況で、告別式のお知らせも儘ならない状況で行ったということもあり、そんな中、頂いた弔電は悲しみで満たされた心に、温かい物を感じる事ができました。

3月14日木曜のショコラの練習から帰ったら直後に父から連絡があり、母が倒れて心臓が止まっている状況で救急車を呼び、蘇生処置をしている、ということでした。私はその時点で覚悟はしましたが、本当に人の命は儚いものだと思います。日頃「私だって帰りに車に轢かれて死んでしまうかもしれない」と言っていますが、本当にその通りだと思います。これを機に「今出来る事は全てやっておこう。全力を尽くしておこう」と改めて思いました。心の整理はこれからつけていく事になると思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。(Noboru Kamio)

### 佐々木 団長の 断腸の思い

#### 「音楽とはなにか」part3

前々回に音楽で感情が表現出来ることについて書きました。私はこれは逆ではないかと考えています。感情を音声で表現したものが音楽になったのではないかと。典型的な感情といえば「楽しい、悲しい、危ない、怒り」、これに対しての表現は「笑う、泣く、叫ぶ、怒鳴る」となります。この感情を「笑う、泣く、等々」の代わりとしてより洗練された形で伝える手段として生まれたのが音楽ではないでしょうか。名曲とされている曲は人間の持つ感情が音楽と無理なく結びつけられています。演奏に際しまず感情があり、それが音楽に転じるように演奏できれば最高の演奏になるのではないかと。音楽で感情を表現するのではなく、音楽は感情そのもの。感情の無い音楽は音の抜け殻に過ぎない、と言っでは言い過ぎでしょうか。(佐々木 晋)

### 田辺先生のVoice Training

#### ●ストレッチと腹筋運動

首回りのストレッチ：左右にゆっくりと首を動かす → 首を回す → 首筋の左右の筋肉を伸ばす  
ラジオ体操第一／腹式呼吸：二人一組で → 足を肩幅に開き、上体を90度前に倒しお腹に息を入れる → もう一人が後ろ側に立ちウェスト回りに手を当てて、お腹だけでなく背中側の筋肉が張ることを確かめる＝横隔膜が働いていること → 直立の上体で息を吸う時もこの胴回りの筋肉を意識し、下半身の支えを作る(この時肩が上がらないように)。

#### ●発声

まず口を縦に開け母音0(オー)を発声[十分に開ける] → 口の中の形はほぼそのまま唇だけ閉じハミングする → 逆にハミングしてから、口を開け0(オー)を発声し、四拍・六拍・八拍と伸ばしてみる。

#### ●『真昼の星』を二組に分かれて歌い、聴き合い、良い点・改善点を発表し合った。

「は行」の発音、「ひかえめな」「ほし」「はるかな」など息をゆっくり入れて発音すること／楽譜中の松葉印<>を意識して歌うこと／助詞、接続詞など気をつけて歌うこと (三葉)



### わたしの先生



#### 合唱団の宮原先生

アルト 小林 有紀子



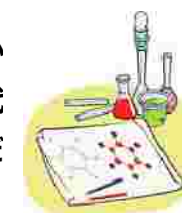
小学生の頃、児童合唱団に入っていました。

合唱指導の宮原先生は、すでに退職されていて兵役経験があり戦地でも合唱指導されていたようです。

「明るく元気よく」「挨拶」「時間厳守」この3つが決まり事でした。とにかく、明るく元気よく大きな声で歌うと嬉しそうに褒めてくださる。すべての基本は「挨拶」から。「ありがとうございます」、いつも感謝の気持ちを忘れずに。「おはようございます」、一日の始まりは気持ちよく。「無断欠席・遅刻・早退はしない」。「練習に集中する」。みんなの練習時間を大切に。優しく、厳しく、温かく徹底的に仕込まれました。

子どもと大人の発声法は異なるようで、過去の合唱経験が全く生かされず練習の成果を感じられないのが残念です。しかし、どんな場所でも誰とでも上手く馴染んで何となく今までやってこられたのは、教科書では教えてくれない「3つの決まり事=生きる術」を、根気強く指導して下さった宮原先生のおかげなのだと感謝しています。

私が理系に進んだ背景を思い起こすとき、何人かの人たちの言葉が浮かんできます。男尊女卑の時代の中、小学校で算数や理科がいつもトップの成績だった私に、“女なんかいま理系ができて、そのう



#### わたしの反面教師

ソプラノ 柴田 晶子

ち男に負けるんだよな”というでの悪い男子生徒の言葉。面と向かって言われた”男だったら良かったのに“という母の言葉。その時絶対男になんか負けるものと心の中で誓いました。

その後中学、高校と進むにつれ益々理系科目が好きになり、理系の大学に進もうとしたとき、“女でたらに理系に進んでどうするの、〇〇女子大学に入ってくれば御の字よ”という母や叔母の言葉。その時心に火がつかしました。敢て共学の大学に進み、さらに大学院で理学博士も取得しました。化学を選んだのは、高校時代の化学の授業が楽しかったからです、何人かの反面教師がいたことと反骨精神があったからこそ、今の自分があるのだと思います。

#### 編集後記 2013.3.28

♪「ママさんコーラス」に入っていた時のことだが、一年に一度の大会で実にバラエティーに富んだ曲が歌われている。一団体10分弱の持ち時間でいわゆる「合唱曲」に限らず、童謡や唱歌、歌謡曲、民謡、ミュージカルや宗教曲など。人数は20人前後の団体が多いのだが、ある年、私達のコーラスになんと40人も集まり、歌うことになったのがバツハの『マタイ受難曲』だった。指導の先生のパワーもすごかったが、真剣な練習を重ね臨んだ本番では演出も効を奏し、‘声の力’を結集することができた。結成当初4人だったショコラが今や20人を超え10周年に向け『フォーレ合唱曲』を歌う。時機到来！(三葉)

♪「レミゼ」を観た。普段物静かな人が“感涙・必見”と興奮気味に言ったから。私は巨大なセットや大群衆シーンに目を奪われ、物語そのものにはのめり込めなかったが歌の迫力と上手さには感心した。唯一泣けたのは、エポニーヌ(サマンサ・バークス)の健気さ。死ぬほど愛しているマリウス(エディ・レッドメイン)は、コゼットに心を奪われている。彼女がマリウスの腕に抱かれたのは政府軍に撃たれて息を引き取る時。この映画は出演者が撮影現場で歌った歌声をその場で録音したことを後から知った。スタジオで先に録音したらこの臨場感はお出なかっただろう。“口ばく”はやはりそれなりのものなのだ。納得！。(Kobo)